2007年度夏学期　国際関係論　試験問題解答

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成者　小池　貴裕

１．

（１）×

　　　中国の経済発展は、外資企業が担い手となっている。

（２）×

　　　武力行使容認決議は、決議６７８。なお、決議６８７は、湾岸戦争の停戦決

　　　議である。

（３）×

　　　多国籍軍に関する記述は無い。

（４）×

安保理決議によるエンドースメントが必要なのは多国籍軍。

・自衛権行使に必要な３要件

1. 国家又は国民に対する外部からの急迫不正の侵害

→ただしこれは日本政府の見解。国連憲章では、国家に対する攻撃の場合の

　み行使できるとされている。これに従うと、海外の大使館や船が攻撃されても反撃できないことになる？

1. 侵害を排除するのに他の適当な手段がない
2. 必要最小限の実力行使にとどめておく

（５）○

　　　テキストP.69の6行～参照。

（６）×

　　　英国は米国とともに武力行使に賛成。反対したのは、中・露・独・仏。

（７）×

　　　認めている。

　　　ただし、乱用の危険性があるため“人道的介入”の解釈の議論は慎重にされる必要がある。

（８）○

（９）×

　　　G4案では、新常任理事国に拒否権を与えないとした。

　　　結果、AUの反発を招き、挫折。

（１０）×

　　　　常任理事国の賛成または棄権を必要としない。拒否権が関わってくるのは、国連憲章改正において。

（１１）×

　　　　1994年に国連開発計画（UNDP）が初めて提示した。

（１２）×

　　　　日本とオーストラリアで無く、日本とカナダ。

（１３）○

　　　　テキストP.32の12行～参照。

（１４）×

　　　　ミサイル実験を禁じる国際法が無かったため、安保理は特に反応を見せなかった。

（１５）○

　　　　文章のとおりです。

２００６年度夏学期　国際関係論試験問題　解答

　１．

（１）○

（２）2007年度の問題と重複

（３）×

　　　「自衛権の行使」を根拠に行った。

（４）×

　　　必ずしも、条約締結をする必要はない、という学説が有力である。2007年度の（５）

の類題。

（５）×

　　　“脅威や破壊”の言葉の定義ですら合意されておらず、安保理決議の積み重ねによる範囲の確定が必要。テキストP89参照。

（６）×

日本は、支持はしないが理解はするという曖昧な態度をとった。

（７）○

（８）×

　　　1951年の吉田茂が最初(サンフランシスコ平和条約締結後)。

（９）×

　　　初めて異議を唱えたのは、1985年の中曽根首相の公的参拝のとき。1979年当時は　対中円借款が開始したため、中国側も日中友好関係を重視していた。

（１０）×

　　　　周辺事態とは日本にある一定以上の影響を及ぼす事態を指し、その発生地は極東とは限らない。

（１１）×

　　　　日華平和条約によって、法的に中国との戦後処理を行った。

　　　　ここでいう、中国とは中華民国(台湾)。

　　　　日中共同声明は、政府承認の変更(中華民国→中華人民共和国)などを行った。

（１２）○

　　　　日本と直接交戦した国のみに認められる。

（１３）○

　　　　PKOは、国連憲章には記載されておらず、時代の要請でその定義・特徴は変化する。

（１４）×

　　　　新常任理事国への拒否権付与を認めなかったために、AU(アフリカ連合)の反発に　　　　　　あい、挫折した。

（１５）×

　　　　台湾については、｢独立｣について規定されていない。

　　　　→どこの領有なのか、という問題が浮上。

（１６）×

　　　　自衛隊以外でもPKOに参加可能。

ただし、PKOの行き先は危険なところなので、NGOなど一般人より、危険対処能力のある自衛隊が適任との考えから自衛隊の参加がほとんど。

（１７）○

　　　　その後、80年代に在日3世には特別永住権を与えた。

（１８）×

日中共同声明第３項：中華人民共和国は、台湾が中華人民共和国の領土の不可侵の一部であることを表明し、日本政府はこの立場を理解し、尊重し、ポツダム宣言第8項に基づく立場を堅持する。

→中国は台湾を自国の領土だと日本に認めさせたいが、日本はあまりそうしたくはないため、「立場を理解」という曖昧な言い方をしている。

（１９）○

賠償請求権を放棄する代わりに、3億ドルの無償供与と2億ドルの貸付

という経済協力を要請した。

（２０）×

　　　　賠償協定を結んだのは、ヴェトナム・フィリピンの2カ国。

予想問題解答

（１）×

　　　インド、中国も加盟している。ただし、CO2の削減義務は負っていない。

（２）×

　　　必要としない。

例）日中共同声明（←条約でない。）

（３）○

（４）×

　　　ＥＵ全体で削減目標数値が設けられている。

（５）×

　　　１９０５年に日本が竹島の編入を行ったことに始まる。

　　　なお、韓国の人々はこの竹島編入を韓国併合のプロセスと捉えているために、より敏感になっているのである。

ふう、やっと解答ができました。自分ひとりで解いたのでもしかしたら間違えてるところがあるかもしれないです。。。

そんときには指摘してくれるとうれしいです、マジで。

解いてみて思ったのは、とにかくテキストの熟読が必要ということです。丁寧に読み込みましょう。

んじゃ、皆さんがんばりましょう。